

JAIA F☆☆☆☆

環境対応接着剤

ダイアボンド No.2100E

ダイアボンドNo.2100Eは、一般家庭用から工業用まで幅広い分野で使用可能な2液常温硬化形エポキシ樹脂系接着剤汎用品です。

§ 特長

1. ノンホルムアルデヒド仕様です。
2. 常温硬化性で耐熱，耐水，耐寒性に優れます。
3. 金属，ガラス，陶磁器など広範な材料の接着に優れます。
4. 硬化時の体積収縮が少なく、安定した接着力を示します。

§ 用途

金属，ガラス，陶磁器，石材，木材，スレートの接着

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

	主 剤	硬化剤
主 成 分	エポキシ樹脂	ポリアミド樹脂
外 観	こはく色	茶褐色
不 揮 発 分 (%)	98 <	97 <
粘 度 (mPa·s) at20°C	20,000 ~ 60,000	40,000 ~ 80,000
混 合 比	1 対 1	
可 使 時 間 (分)	40 ~ 80	
硬 化 時 間 (時間) at20°C	16 ~ 24	
保 証 期 間 (月) at25°C	12	

§ 使用方法

1. 前 処 理 被着材表面の水分やゴミなどを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 接着剤の調整 主剤：硬化剤を 1：1 の割合で、均一になるまで十分に混合します。
3. 塗 布 方 法 被着材に接着剤を 150～250 g/m² ヘラなどで塗布します。
4. 圧 着 接着剤塗布後、ただちにはり合せて加圧し、硬化するまで加圧養生します。

§ 温度と可使用時間の関係 (50g 混合)

温 度	可使時間
5 °C	120 分
20 °C	60 分
35 °C	40 分

§ 接着性能

せん断接着強さ (MPa)

	鋼板／鋼板	Al／Al	合板／合板	
常 態	24 時間	14	7 *	
	48 時間	15	7 *	
	96 時間	16	7 *	
熱老化	70°C・96 時間	16	15	7 *
耐熱	80°C	3	3	3
耐寒	-20°C	15	15	7 *
耐水	48 時間	15	14	7 *
耐油	48 時間	15	14	7 *

*：材質破壊 Al：アルミニウム板

耐油試験の油は、潤滑油 No.3 を使用

試験方法：JIS K 6850 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 使用可能時間は、気温や混合量によって異なります。混合量は、可使時間内に使い終える量にして下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 使用器具の洗浄には、メチルエチルケトンやトルエンをご使用下さい。
- ・ 作業中は、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取り扱い中は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクを付け、さらに頭巾、保護眼鏡、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋を着用して下さい。
- ・ 容器から出し入れする時は、こぼれないようにして下さい。容器からこぼれた場合には、布でふき取り、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- ・ 作業着などに付着した場合には、その汚れを良く落として下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診断を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合は、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 指定された以外の材料と混合しないで下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。